

## は　じ　め　に

現在の青年を取り巻く環境は、少子高齢化や高度情報化などの進展に伴い、多くの問題が複雑化、多様化しています。また、就労の不安定化に伴う社会的自立の遅れやインターネットを悪用した犯罪などに巻き込まれる事例も増加しております。

県では、平成8年度に青少年の意識調査を実施し、その結果を基に青年の健全な育成の事業展開を進めてまいりましたが、青年を取り巻く社会環境の大きな変化などに伴い、青年層の意識にもこれまでと違った変化が見られるようになりました。

このため、県では、青年の生活と意識に関する調査を実施し、現在の青年の姿を把握することとし、この調査報告書を作成いたしました。

今後は、この調査結果を基に関係機関等と一層の連携を図りながら、青年の健全な育成施策の展開に努めて参りますので、御理解と御協力をお願いいたします。

最後に、この調査の実施に当たり、回答をお寄せいただいた皆さまを初め、多くの方々の御協力により、調査結果を取りまとめることができました。心から感謝を申し上げます。

平成21年2月

宮 城 県

# 目 次

調査結果にみる宮城の青年像	P 1～2
<b>I 調査の概要</b>	P 3～6
調査の目的 / 調査項目 / 調査対象 / 調査方法 / 調査時期 / サンプル抽出 / 調査票の配布・回収 / 調査の実施経過 / 報告書の分担執筆 / 回答者の特徴	
<b>II 調査結果の概要</b>	
1 日頃の生活の様子	
(1) 休日の過ごし方	P 7
(2) 生活行動圏	P 9
(3) 団体・サークル活動	P 10
(4) 友人関係	P 12
(5) 支援してくれる人	P 13
(6) 成長にとって有意義な場	P 14
2 地域への愛着心・地域での活動	
(1) 地域への愛着心・地域での活動	P 17
(2) 地域でのイベント・活動への参加	P 18
(3) 地域でのイベント・活動への参加・参画希望	P 24
3 生活意識	
(1) 生活への満足度	P 27
(2) 個人的に悩んでいること	P 29
(3) 若いうちにやっておきたいこと	P 30
(4) 将来の生き方	P 31
(5) 10年後の日本の社会状況について	P 33
<b>III 調査結果に見られる青年の意識と行動の特徴及び支援の課題</b>	
1 宮城県の青年の意識と行動特徴～平成8年調査・全国調査との比較を通して～	
(1) 経年変化	P 34
(2) 全国調査との比較	P 35
2 学生とそれ以外の青年との比較	
(1) 地域のイベント・活動への参加状況	P 38
(2) 成長にとって有意義な場	P 39
(3) 社会的な興味関心の範囲	P 40
3 地域における青年活動支援の課題	
(1) 地域活動への参加希望と実際のギャップ	P 41
(2) きっかけづくり — 大学・短期大学・専門学校との連携	P 42
(3) 情報提供の工夫	P 43
(4) 参画意欲への対応	P 43
(5) 多様な青年たちの参画による地域活動	P 44
(6) 少年期の活動支援	P 45
(7) 継続的な調査活動の必要性	P 45
<b>付 録</b>	
① 調査票及び単純集計結果	P 47
② 委員コメント	P 56
③ 検討委員会委員等名簿	P 57